

第4回丹波アートコンペティション 作品を募集します！

〒74-1050
 団圓文化・スポーツ課 (春日文化ホール内)



illustration & design: Norie Ikegami

全国からアート作品を募集し、「丹波アートコンペティション」を開催します。入賞・入選した作品は作品展で展示します。

- 部門／平面・立体・書・写真
- 応募資格／16歳以上。居住地・国籍は問いません。
- 応募制限／①1部門につき1人1点まで。②未発表の作品で個人制作のものに限る。
- 出品料／一般：2千円、学生：無料
- 応募方法／春日文化ホール・植野記念美術館・各住民センターなどに設置の応募用紙を持参または郵送。
- 応募締切／令和5年1月13日(金)
- ※当日消印有効
- 賞
- 大賞：各部門1点(副賞10万円)

優秀賞：各部門1点(副賞2万円)

教育長賞：1点(副賞1万円)

文化協会長賞：1点(副賞1万円)

美術作家協会長賞：1点(副賞1万円)

観光協会長賞：1点(副賞1万円)

新人賞(植野記念美術館賞)：40歳未満より若干名(副賞1万円)

奨励賞：各部門若干名(副賞丹波市の工芸品)

市民賞：各部門若干名(副賞丹波市の工芸品)

※市民賞は今回から新たに設けました。

※賞に該当する作品がない場合は、この限りではありません。

■審査員／平面・立体：加藤義夫・宮永愛子 書：深瀬裕之・浅田大遠 写真：川口和子

◆作品展
 ①入賞・入選作品展
 とぎ／令和5年2月21日(火)～26日(日) 午前10時～午後7時
 ※2月26日(日)は午後3時半まで
 ところ／春日文化ホール・春日住民センター
 ②新人賞受賞者展
 とぎ／令和5年2月21日(火)～26日(日) 午前10時～午後5時
 ※2月26日(日)は午後4時まで
 ところ／植野記念美術館
 内容／第1回から第3回展の新人賞受賞者の作品展

市長・林時彦の 時を駆ける



ごみ袋半額化議案の否決を受けて

9月議会定例会で、提案した来月4月からのごみ袋半額化の議案は否決となりました。市民の皆さまの期待に応えることができなかつたことはたいへん残念でなりません。ごみの減量に努力いただいている皆さまに感謝申し上げますとともにお詫び申し上げます。

今回の提案理由は、市民の皆さまの経済的負担を少しでも軽減し、住みよいまちづくりを進めるためです。私は「帰って来いよ、帰ってきたい」と声かけ合える丹波市」をめざしていますが、兵庫県内で一番ごみ袋の料金が高い丹波市が住みよいまちだとは言えないという声を多数いただいております。返す言葉がありません。

また、現在丹波篠山市清掃センターで処理している山南地域の燃えるごみを、令和9年度からは市クリーンセンターで受け入れなければなりません。

の処理能力は既に限界に達しようとしています。市として、令和9年までにごみの減量は不可欠で、市民の皆さまの協力が必須です。ごみ袋の半額化を契機にごみの減量化に向き合い、市民総がかりで減量に取り組んでいくことが私の目的でした。反対意見の中には「値下げはごみが減ってからも遅くない。値下げしたらごみが増える」との声もありますが、市民、行政、議会が一体となつてごみの減量に取り組むためにも、ぜひとも半額化を実現していきたいと思っています。

最後に、生ごみの減量方法として市で推進している「キエーロ」という処理機を紹介いたします。キエーロとは、電力を使わずに土の中のバクテリアの力で生ごみを分解し、消滅させる減量化容器のことです。生ごみの分解にかかる時間は、夏期は3～5日、冬期は10日～3週間ほどで、悪臭や虫の発生はありません。購入費用の一部を補助する制度もあります。これからも、市民の皆さま一丸となつて、ごみの減量に取り組んでいきましょう。

丹波市長 林 時彦